



野生動物から農作物を守る

丸太でできた頑丈な柵は伊那市西春近諏訪形の農地の西端にあった。野生動物から農作物を守るために先人が西山のふもとに築いた猪垣の跡に、約10畝を復元したのは1995年。地元「西春近地域の環境をよくする会」などが2009年に改修延長し、現在は約40畝ある。

伊那谷遺産 第1部

⑫ 諏訪形の猪垣ししがき

伊那市

猪垣の山側にはマレットゴルフ場があった。ボラントイアでコース整備をする浦野和夫さん(80)によると、コースが野生動物に荒らされることもしばしば。イノシシの仕業か、木の根を掘ったり、コース上のマットを裏返ししたりするという。猪垣は、野生動物と耕作



地の境をつくった。「梅畑が毎年イノシシに掘り返されていた。まるで重機で掘ったかのような穴ができた。ところが猪垣ができた。」

復元された猪垣の里側には電気柵が整備された。野さん。 復元された猪垣の里側には電気柵が整備された。野さん。

毎週火曜日掲載



QRコードから天上事務所HPへ

平成25年10月1日掲載
長野日報 / 1面